

シニアのための
住まいを考える

リフオームを考える

シニアの住まいのリフオームは、生活スタイルの変化に伴って生じた問題点、不具合を整理することから始まります。「リ・ホーム熊本」(熊本市東区)の専務取締役・島谷朝男さんにそのポイントを聞きました。

家族構成や間取りに合わせて改装

高齢者からのリフオーム依頼は、スロープの設置やバリアフリー化、手すりの設置、トイレや浴室の改修などが多

いと話す「リ・ホーム熊本」の島谷さん。「ただし、個人住宅のリフオームは、生活スタイルによって一軒一軒求められる内容が異なるため、まずは聞き取りに重点を置いています」。依頼主の希望や予算はもちろん、家族構成や間取り、さらには保険や相続のことも考え方をさせてリフオーム案を提案するそうです。また、依頼の中には「住みにくいで、どうにかしたい」と問題点が漠然としているケー

スも多いとか。そこで使用しているのがヒアリングシート(左写真)。気になるキーワードに印を付けてもらうことで、

収納スペースを確保し片付いた家に

対するケースも少なくありません。必ずご家族も含めて話し合い、皆さん納得の上でリフォームを進めるをお勧めしています」と島谷さんは話します。

島谷さんが高齢者のためのリフオームを行う際にテーマとしているのは『居心地のいい場所づくり』。居心地のいい場所とは、明るくて、風通しがよく、整理整頓が行き届いている場所のこと。そこで重点を置いているのが、収納スペースの確保です。「片付けがしやすい環境づくりが大切。きれいに片付いたお部屋は、それだけで気持ちよく、居心地がいいものです」。

株式会社リ・ホーム熊本
専務取締役
島谷 朝男さん



手すりの設置には壁面に補強が必要な場合もあります。位置や高さは実用に応じた設定反



元々壁で仕切られていた手前の客間と奥のダイニンックキッチンに開口部を設け、段差をなくしたケース。部屋が明るくなり、行き来がしやすくなつたそ

1 ノスタルジック	11 段差	21 リノベーション	31 平屋	41 集まる
2 広い	12 高くない	22 タイルカーペット	32 どこまで使うか	42 整理整頓
3 明るい	13 仕分けて収納	23 経済的・節約	33 ウォークインクロゼット	43 専用
4 気持良い	14 寝起きがる	24 思い出	34 引戸の活用	44 ブライバシー
5 健康	15 床る	25 長期計画	35 行動予定表規則正しく住宅車両	45 自分だけのもの
6 安全	16 手すり	26 掘除しやすい	36 小家族(1~2人)	46 自分だけの居場所
7 安心	17 ベット	27 持てる・使う	37 リセト	47 仏壇
8 趣味	18 孤独	28 予算の安を知る	38 健康管理	48 もう一度花を咲かせる
9 片付いている	19 修理	29 メンテナンス フリー	39 見せるもの隠すもの	49 終の棲家
10 家族	20 リフォーム	30 年度計画5年後10年後~ライフプラン	40 忘れ物	50 変化(心・身体・環境)

リフォームの方向性を決めるために使われるヒアリングシート。気になるキーワードに印を付けてもらうことで、住まいの問題を解決する糸口を見つけることができる



トイレや浴室も、わずかな拡張やドアの取り替えで、格段に使い勝手は向上する

うです。

トイレスペースを確保し片付いた家に

少部屋は狭くなつても、ウオーキングクローゼットなどを用意し、片付けがしやすいように配慮。物が散らかつていると転倒の原因になる上、お客様にも呼べなくなります。特に一人暮らしの場合は、それが孤立につながる要因にも。今回の地震などの際には、逃げ遅れにつながる可能性もあります。「広めの収納スペイ

スを作ると同時に、棚や作り付けのローボードの設置などをお勧めしています」

一日でも長く、住み慣れた家で気持ちよく過ごすためのポイントは、実用性重視のリフォームということになりそ